

● 地域提案型

平成22年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	カンボジア
2. 事業名	タケオ州における授業研究による教員の授業能力の向上
3. 事業の背景と必要性	<p>広島県は、平成20年度から22年度までの3年間、タケオ州教員養成校に対し、授業研究による授業や教育実習指導の質的改善、学校経営の向上に向けた支援を行った結果、以下のような成果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業研究を通して継続的に授業改善を行なう意欲が高まり、研究授業や日常の授業で、生徒の活動や思考を促すような教材や発問の工夫がみられる。 ● 教科別の授業研究グループが形成され、一部の教科で年4回の指導案検討会→模擬授業→研究授業→協議会サイクルが定着した <p>一方、こうした成果は教員養成校内に留まっており、今後は、この教員養成校での成果を現場の小学校に普及させると共に、教員養成校教員と小学校教員がお互いの経験を活かした、より効果的な取組を行っていく必要がある。</p>
4. プロジェクト目標	タケオ州教員養成校と近隣小学校との連携を強化し、理科や算数を中心として、お互いの経験を活かした授業研究の取組が効果的に行われることにより、授業が質的に改善される。
5. 対象地域	タケオ州教員養成校及び周辺小学校
6. 受益者層（人数規模）	タケオ州教員養成校教官（15名）及び周辺小学校の教員（約150名）
7. 活動及び期待される成果	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教員養成校の近隣小学校において、授業研究の有効性が理解され、継続的な授業改善への意欲が向上する。 2. 教員養成校の理科や算数を中心とする授業研究において、「小学校児童に対する教え方」の視点がより強化される。 3. 教員養成校と近隣小学校の連携を促進するプロジェクト運営委員会が定着する。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 養成校内の理科や算数を中心とする授業研究に近隣小学校の教員が参画する授業研究サイクルを構築する。 2. 今後リーダー的な存在になる教員を広島での研修に受入れ、日本の小学校における授業研究の枠組みと実践を学ぶ研修を実施する。 3. 1や2で把握された課題を改善するため、養成校教員や授業研究グループに対して、小学校での児童の実態や教科の専門性に即した技術指導を行う。 4. 教員養成校と小学校の連携を円滑に進めるために、プロジェクト運営委員会を設置し、定期的な会合を実施する。 5. プロジェクト運営委員会と養成校研究部を中心として、授業研究報告書を作成し、成果と課題を取りまとめる。
8. 実施期間	平成23年5月～平成26年3月
9. 事業の実施体制	<p>ひろしま平和貢献ネットワーク協議会（国際社会の平和と発展に貢献することを目的に、県内の行政、経済団体、大学などで構成）が実施する。</p> <p>活動に当たっては、広島県職員、県教育委員会指導主事、県内大学職員等がプロジェクトチームを形成し、効果的な事業推進を図る</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	ひろしま平和貢献ネットワーク（広島県）
2. 対象国との関係、協力実績	平成17～19年度シエムリアップ州にてJICA草の根技術協力事業を活用し、教育・保健分野の支援を実施。また、平成20～22年度タケオ州にてJICA草の根技術協力事業を活用し、教育分野の支援を実施